

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室八ニカム		
○保護者評価実施期間	年 5月 1日		～ 年 5月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	年 5月 1日		～ 年 5月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	年 5月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者向けのニーズに合わせて、言語トレーニング等個別支援を行っている。	利用者に合わせたプログラムを考え取り組んでいる。	決まった職員でなく、どの職員も個別支援が行えるよう研修体制を整える。
2	土曜に開所し科学館や公園といった教室外での活動を野機会を設けている。	同株式会社内の事業所と合同で活動することが多く指導員の目が多い	今後さらに活動の幅を広げてイベント等企画していきたい
3	クッキングを通しての療育活動。	年齢発達に合わせた内容の中、様々な調理器具や調理工程を入れ手や指の使い方動かし方を知ることができるようにしている	クッキングのレパトリーをさらに充実させていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	遊ぶスペースに制限がある。	放デイ利用者の多さ。	全員が落ち着いて過ごせるようなかわりをする。危険の内容にスペースを区切る。
2	研修の機会が少ないため専門的な知識の学びが各職員の裁量にゆだねられている。	日々の業務により時間に余裕がない。	業務の効率化、人員の確保、研修体制を確立する。
3			

## 公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室 ハニカム					公表日	令和8年 5月 27日		
						利用児童数	8	回収数	8
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8					安全に考慮した上で、活動に十分なスペースを確保しております。		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8					運営上で必要な配置基準を満たしております。もし当日に急な欠勤があった場合での対応できるよう余裕をもって配置しております。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく 構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	1				運動エリア（芝生）、クッキング、落ち着いて1対1でかかわれるエリアがしっかり分かれていてほかの施設にはなかなか見えないと思います。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7			1		児童の受け入れ前と受け入れた後に教室内の清掃と安全確認を行っております。		
適切 な支 援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8				ワーク等を使って、子供たちが楽しく座ってできるように工夫して下さっていると思います。持って帰ってきたワークもまたお家でやることも、親に見せたり	これからもハニカムだけでなく日常生活でできるような工夫に努めていきます。		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	1				支援プログラムを意識した関わりがもてるよう、職員に共有してまいります。		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					保護者の方やお子様のニーズを聞き取りより充実した支援計画の作成をいたします。		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8					より良い支援が出来るようお子様に必要な支援内容について具体的に設定いたします。		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	1			入所の際に言語聴覚士を入れる予定といわれていましたがなかなか入らないですが、しっかりお伝えすると言葉のトレーニングは徐々に進んでいくと思います。	少しでも利用者の要望に応えられる療育を行いながら、職員の採用にも力を入れていきます。		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7			1	毎回クッキングのメニューが違っててすごいなと思います。子どもの発達年齢に応じてできることにトライさせてもよいと思います。	同じ内容にならないように職員間で多くのレパートリーを用意していきます。		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	1	2	1	4		今後の課題として地域の子どもと接する機会を設けるようにいたします。		
保護 者へ の説 明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					保護者の方からの質問を受けながら丁寧に説明してまいります。		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7		1			引き続き面談の際に丁寧な説明を心掛けます。		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1	1	3		相談がある場合は個別に対応しておりますので今後、情報提供の機会を作ってまいります。		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8							
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7			1		可能な限り丁寧かつ早急に対応することを心掛けています。		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					送迎の忙しい中でも丁寧に説明してくれるので助かっています。		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	2	4					

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7			1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8				アプリを通してその日の活動様子を前向きな言葉づかいで知らせてくださる野で本当にありがたいです。本人が	言葉遣いの配慮を意識的に行うことや、子どもたちの良かったところやできたことについては職員間での共有をしている
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7			1		ホームページやブログを使い、活動の様子を発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8					鍵付きの書庫で保管しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5		1	2		地震、火災、津波等の災害を想定し定期的に避難訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1		3		地震、火災、津波等の災害を想定し定期的に避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5		1	2		お預かりする児童の安全の確保は最優先に考えております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7			1		速やかに保護者への連絡を行っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	1			・先生方全員の名前を憶えてハニカムへ通所することが当たり前の日々になっています。	・日ごろからの挨拶やコミュニケーションをしっかりと行っております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8				・初めてサッカーでゴールできた次の週も「サッカー頑張る！ゴールする！」と張り切っていたので周りの先生たちに認められたいと通所を楽しんでいます。	・利用者とのコミュニケーションを取り、さらに子どもたちの自己肯定感や「もっとしたい」を増やしていく活動を行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	1				

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室 ハニカム		公表日		令和8年 5月 27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	来所時間を基本にして半分に分けて活動を行っている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	体を使った活動後落ち着いて過ごせるようスペースを使っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	会社として1人1人の意見が聞ける、伝える機会を設ける場があることで個々の向上心を高めることができる。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	その日の担当している職員が全体に共有し役割分担を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			現在は行っていません。	必要に応じて実施を検討いたします。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		2		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		2	利用する児童の園と関係性を築いたり、使用するフットサルコートで地域子どもたちと挨拶する機会はある。	行事やイベントとしては活動する機会がないので必要に応じて実施いたします。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	事業所での様子として連絡帳アプリを使って伝え関係性を築いています。	その日の様子だけでなく送迎時にも支援方針を話し共通理解がもてる機会を作っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	家族参加のイベントは行っていません。	保護者からの要望に応じて行っていきます。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に管理者から行っています。	初めて利用される方にもわかりやすい説明ができるよう心がけています。	
	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	6カ月に1度のモニタリングの機会でも子どもやご家族の意向を確認する場としています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	支援計画をもとに説明し同意を得ています。	児童発達支援管理責任者が対面で支援内容の説明を行い同意を得ています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	電話や連絡ツールを使い保護者から依頼があれば早速に対応しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	現在は行っておりません。	必要に応じて実施を検討いたします。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	電話や連絡ツールを使い保護者から依頼があれば迅速かつ適切に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ブログでの活動やコラムを掲載するほか、定期的に活動内容をお便りにて配布している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報が記載された書類は鍵付きロッカーで保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	現在の利用者の方はいらっしゃらないが、意思疎通が難しい方が問い合わせがあれば適切に対応できるよう準備しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2	年に2回以上地震や火災などさまざまな災害を想定して避難訓練を行っています。	利用曜日によっては参加できない児童もいるので、全員が参加できるように予定の設定をしていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	契約時に聞き取りと書面で保護者に確認をとるようにしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	契約時にフェイスシートで確認しアレルギー児には細心の注意を払っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	開所時に作成し定期的に研修や訓練が行われています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	契約時に保護者にお伝えしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハット事項が起きた場合には会議で話し合いの場をつくり、再発防止に取り組んでいます。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	所属する職員が外部の研修を受講し資料をもとに全職員で共有するような仕組み作りをしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	契約時に身体拘束について丁寧に説明しご納得された上で同意いただいています。	